

山田小
学校だより
令和7年
8月号



*本校のHPにも掲載しています。 <https://www.katori-edu.jp/yamada-e/>

地域の宝をみんなの力で！

7月19日（土）から夏休みに入って1か月経ちます。例年どおりとなってしまった暑さが毎日のように続いております。家庭や地域で暑さ対策に御協力をいただいているおかげで、今のところ熱中症等に罹患したという報告も学校にはありません。ありがとうございます。

異常とも言えるこの暑さですが、これまでは考えられなかった「暑すぎてプールは中止」というように水泳学習が思うように実施できない学校が増えているのが現状です。報道によれば、屋外プールでマットを敷いていたにもかかわらず、プールサイドに座っていた児童が臀部をやけどするという事案まであります。本校は、山田 B&G 海洋センターを利用しており、炎天下で水泳学習を行うことはありませんでしたが、それでも屋内プールのため室内の気温が40℃近くまで上がることもあります。また、水温が高すぎる場合は、中止を検討することもあります。この暑さは、子ども達の学習にも大きく影響しています。

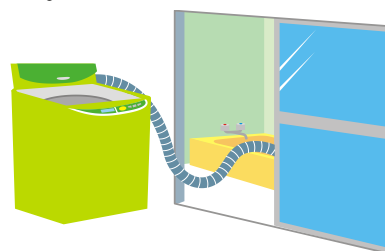
さて、夏休み前に全校集会を行いました。そこで始業式で話した“おいしいおまんじゅう”になるための行動が1学期にできたか子ども達に話しました。子ども達は正直にできたこと、できなかったことを振り返る姿が見られました。また、善いことも悪いこともいずれば自分に返ってくるものであると話しました。家庭、地域、学校と子ども達を取り巻く全ての大人は、自分の子どもだけでなく全ての子どもの成長を願って、遠慮なく声を掛けられる山田区でありたいと思います。善いこと悪いこと関係なく、子ども達を見かけましたらお声掛けください。よろしくお願いいたします。

家族の一員として！

夏休みに入り、子ども達は家庭や地域でどのように過ごしているでしょうか。

子ども達に配付した夏休みのしおりには、全ての学年で毎日の反省に「お手伝い」という項目が設けられています。これも“自立”を促す第一歩になる取組になります。例えば、お子さんは自分でご飯を炊くことができますか？自分でお風呂を洗って入ることはできますか？お米を研いでご飯を炊く、お風呂を洗ってお湯を入れるなどは、なかなか普段でできることではないと思います。夏休みだからこそ、家庭の仕事の一つをお子さんに任せるきっかけにしていだければと思います。

初めてやることであれば、失敗はつきものです。失敗して学ぶことが多いことは、大人であれば誰しもが経験していることと思います。うまくできたら、目一杯ほめてあげてください。夏休み明けに、「先生、わたし〇〇ができるようになったよ」という子ども達からの報告が一つでもあると大変嬉しいです。



山田小学校の様子（7月）



7月10日、3年生は社会科の学習でフーズマーケットさえき小見川店に見学に行きました。普段の買い物では見られないバックヤードを見学したり、家族に頼まれた品物を買ったりしながら、物流について学習しました。



7月8日、家庭教育学級が開催され、1年生は歯の健康教室と粘土装飾づくりを行いました。粘土装飾づくりでは、ペン立てにブドウの装飾を作り、きれいな作品ができあがりました。



6年生は家庭科で洗濯を実習しました。当日は靴下や紅白帽子を洗いました。手洗いをするということも少なくなりましたが、家庭でも実践できるとよいですね。



7月8日、学校開放デーで多くの方に来校していただき、学校での子ども達の様子をみていただきました。併せて、今年度は民生委員の方々にも来校していただき、学習の様子や施設を見ていただきました。



2年生には、中国から体験入学をした友達がいました。言葉は通じませんが、すぐに打ち解け一緒に楽しく学習していました。子ども達が仲良くなることに、言葉なんて関係ありませんでした。



7月8日、5・6年生合同でインターネット教室を行いました。便利なインターネットですが、使い方を間違えると自分や友達の命を脅かすこともあると講師の方から教えていただきました。

今年度、図画工作科の指導を通して、自分の思いを豊かに表現できる児童の育成を目指しています。講師の先生を招いて1年生と5年生が授業を行いました。1年生は液体粘土を使った作品づくりを、5年生はジェットコースターのようにビー玉が転がるコースを作りました。どの子も笑顔がいっぱいの授業でした。

